



GIFTS & TASKS

"DONS et DEVOIRS"

Helping each other live the Gospel at home & around the world

International Organization of Marianist Lay Communities (IO-MLC)

Region of North America, Asia, Australia, and Ireland

November - 2018

GIFTS & TASKS 11月号

私はローマで開催された世界マリアニスト家族評議会の会議からちょうど帰国したばかりです。この会議では、4枝からなるマリアニスト家族のリーダーシップに関するテーマもありました。そんな中で、マリアニストの**カリスマ的家族**とは何を意味するのかというテーマが最も興味ありました。

このマリアニストの**カリスマ的家族**とは、私たちがイエスに対する深い信仰に根ざしており、マリアの持つ私たちに対するダイナミックで指導的な霊的役割を理解し続けていることによっています。私たちは自分たちが最良の自分自身になるように促す共同体の中で生き活動しています。私たちは、神が私たちに求めていることを知るために、「時のしるし」を探し続けるという「永続的な使命」の中にいます。

私たちの**家族**は、それぞれの枝が他の枝をパートナーとして認識することによって、「**平等の弟子**」として機能します。誰も他の人より優位に立っていないし、私たちはそれぞれ互いに必要としています。このことによって、家族内での信頼と謙遜の態度を育む助けとなっています。

聖職者至上主義ではないことに気がついている**今のこの時に**、教会の中での信徒によるリーダーシップが、もっと必要であると信じています。私たちマリアニストの伝統である聖職者と信徒が並んで円卓について働いている姿は、教会の模範です。

それで感謝すべきすべてのことを思い起こす1年のこの時期に、マリアニスト家族が私たちにもたらす恵みに心から感謝しましょう。



皆さま方すべてに祝福がありますように！

マルセタ

マルセタ・フレミング・ライリー 北米/アジア代表

FEATURED REGION：オーストラリア

オーストラリア代表、ジュリー・アハーンとのインタビュー

多くの信徒マリアニストは、「修道マリアニスト」が不在となってしまったこのオーストラリア地域で信徒は、何をしているのか知りたいです。



ジュリー：教区のマリアの庭に於いて

そこで、オーストラリアのビクトリアにあるラングワーリンに住むジュリー・アハーンと会いましょう。彼女は小さくても熱心な活動をしている信徒マリアニスト共同体に属しています。それは一時期彼女の近くにあったマリアニスト学校に関連した共同体です。今は、オーストラリアにマリア会はありません。それで私はどのようにして彼女がマリアニストとしての召命を表明し続けているか尋ねるために、「お茶を一杯」用意してジュリーと ZOOM (PC による遠隔会議) で話し合いました。

1980年代に、彼女は自分の教区でマリア会が「マリアの家庭のグループ」を始めた時に、マリアニスト家族と出会いました。彼女は「マリアの汚れなきみ心」という共同体に加わり、2000年8月7日に正式に奉獻して会員になるまでの16年間、積極的に参加しました。



Fr.Lee：教区の最初の SM メンバー

教区司祭が彼女になぜ会員になるまで、長い期間が必要だったかを尋ねた時、ジュリーは次のように言いました。「私は自分の奉獻を真摯に受け止めています。私にとってこれは修道会か結婚の誓約かというようなものです。そこで今、私はただ神のみ旨に心を開いています。神が私に健康を恵んでくださっているのです、私は神がおっしゃることを何でもします。」

最後の会員がもう参加できなくなった最近まで、**彼女は信徒共同体と共に活動していました。**彼女はマリー・テレーズと同じように、シヤミナード神父とメール・アデルといった創立者の旗を地元のカトリック学校に寄贈しました。その学校は、マリアニストの伝統によって繋がりを持ち続けています。月に一度、彼女はミサや結婚式や祝日に教会で飾るために、自分の美しい庭から花を持って行きます。



教区の故人の名前を記した書を
ジュリーはセットしました

朝のミサ後、**彼女はロザリオと神の慈しみの特別な祈り (Divine Mercy Chaplet) の先唱をしています。**教区内で、彼女は朗読者、聖体奉仕者、聖歌隊のメンバーであり、二つのリハビリ病棟と地元の病院の緩和ケアセンターに、ご聖体を運んでいくことを進んで引き受けています。

私の目から見ると、**ジュリーは世界の片隅で生き生きと、しかも目に見える形でマリアニスト精神を保ち続けて生きています。**

(ジュリー・アハーンは、また国際マリアニスト・サイバー共同体である「円卓の聖母」のメンバーです)

アイルランドのセント・ローレンス大学についての説明

この管区は、自主的なカトリック学校法人に加わるために、セント・ローレンス大学の土地の一部を売りに出しています。その法人は、以前管区本部の後援で運営されていた後援活動を引き受ける組織です。そこはスタッフ、校長、理事会向けの養成を引き続き引き受けていきます。しかしながら、管区は学校と残っている土地の所有者として、これからも続いていきます。

祈りましょう

母なるマリアさま、私たちがマリアニスト家族にお導きくださることに感謝します。

・自分たちの関係を築き、人生を生きる上であなたを模範として従っていくことによって、「カリスマを運ぶ人」となれますように私たちに鼓舞してください。



マリアニストの栄唱：

罪の汚れのないおとめマリアによって、父と子と聖霊が至るところでたたえられますように。アーメン

Gifts & Tasks は毎月第四金曜日に出されます。地元及び国のニュース、話、熟慮の上に出た考え、写真を必要としています。次号のため、前の日曜日までに提案や考えを送ってください。